

奥山に もみぢ踏み分け 鳴く鹿の  
声聞く時ぞ 秋は悲しき

天の原 ふりさけ見れば 春日なる  
三笠の山に 出でし月かも

わが庵は 都の辰巳 しかぞ住む  
世をうち山と 人はいふなり